

地域にふるさと納税をもっと知ってもらう ことで、地域経済を循環させることができるか

1202C

①序論

ほかの漁業が盛んな市町村に比べ、ふるさと納税を有効活用できていないため、寄付額を伸ばせていない。



ふるさと納税を利用して
地域経済を循環させたい！



④結論

市民→気仙沼のふるさと納税の現状
事業者→加盟店になるメリットと成功例を
知らせることで地域経済が循環する

(1)市の広報を利用(市民全体に向けて)

- ・寄付額
- ・寄付金の使い道
- ・人気店
- ・人気商品

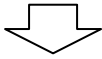
(2)商工会議所に提案(事業者に向けて)

- ・市が提案する事業者へのメリット
- ・気仙沼の事業者の成功例
- ・広報に載せる内容

※(2)については現在制作中です

②仮説

ふるさと納税について、仕組みや寄付金の使い道を知らない



市民や事業者にふるさと納税についての情報を知らせる



加盟店が増え、寄付金が増加し、経済が循環する。

③本論

I アンケートの実施

目的 ②の仮説を検証するため

実施対象 気仙沼高校1年生84名
全学年保護者 243名


結果 9割以上が気仙沼市でどのようにふるさと納税の寄付金が使われているのか知らなかった。



考察 市であまりふるさと納税について発信していないから。そのため興味も持たないのでは？

II 文献調査・インタビュー

(1)事業者の成功例

- ・観光客に人気のある店→ふるさと納税でも人気
- ・カキ漁師→テレビで紹介され注文増加 

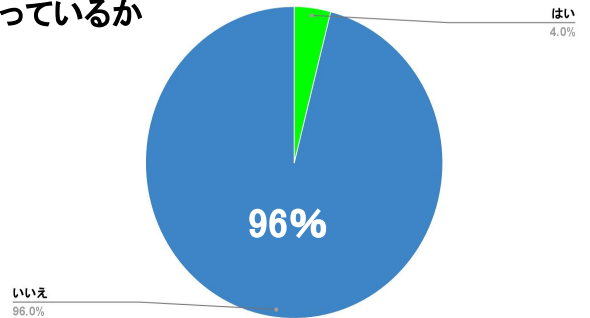
(2)気仙沼の人気商品

海産物が人気!

その中でも…フカヒレが
人気No.1

マグロ、カツオ
いくら、カキ etc…

ふるさと納税の寄付金の使い道を知っているか



(3)コロナによる巣ごもり消費

2020年度(全国)

寄付額	6724億
寄付件数	3488万件

どちらも
過去最高！

**事業者を増やすなら
今がチャンス！！**